

# 2023年3月期 第3四半期決算 説明資料

2023年1月31日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 連結決算

### 増収増益、3期ぶりの黒字転換

- コロナ影響からの回復で運輸事業が大幅に増収となったことなどから、営業収益は2期連続の増収
- 第3四半期決算として、3期ぶりに全ての利益が黒字転換

## セグメント

### 運輸、流通・サービス、その他のセグメントが増収増益

- 運輸事業は、鉄道運輸収入の増に加え、Suicaに係る負債の収益計上時期を変更したことなどにより、**増収増益**
- 流通・サービス事業は、エキナカ店舗の売上が増加したことなどにより、**増収増益**
- 不動産・ホテル事業は、ホテルやショッピングセンターの売上が増加したものの、不動産販売収入の減少などにより、**減収減益**
- その他は、クレジットカード事業の売上が増加したことなどにより、**増収増益**

### ○2023年3月期の業績予想

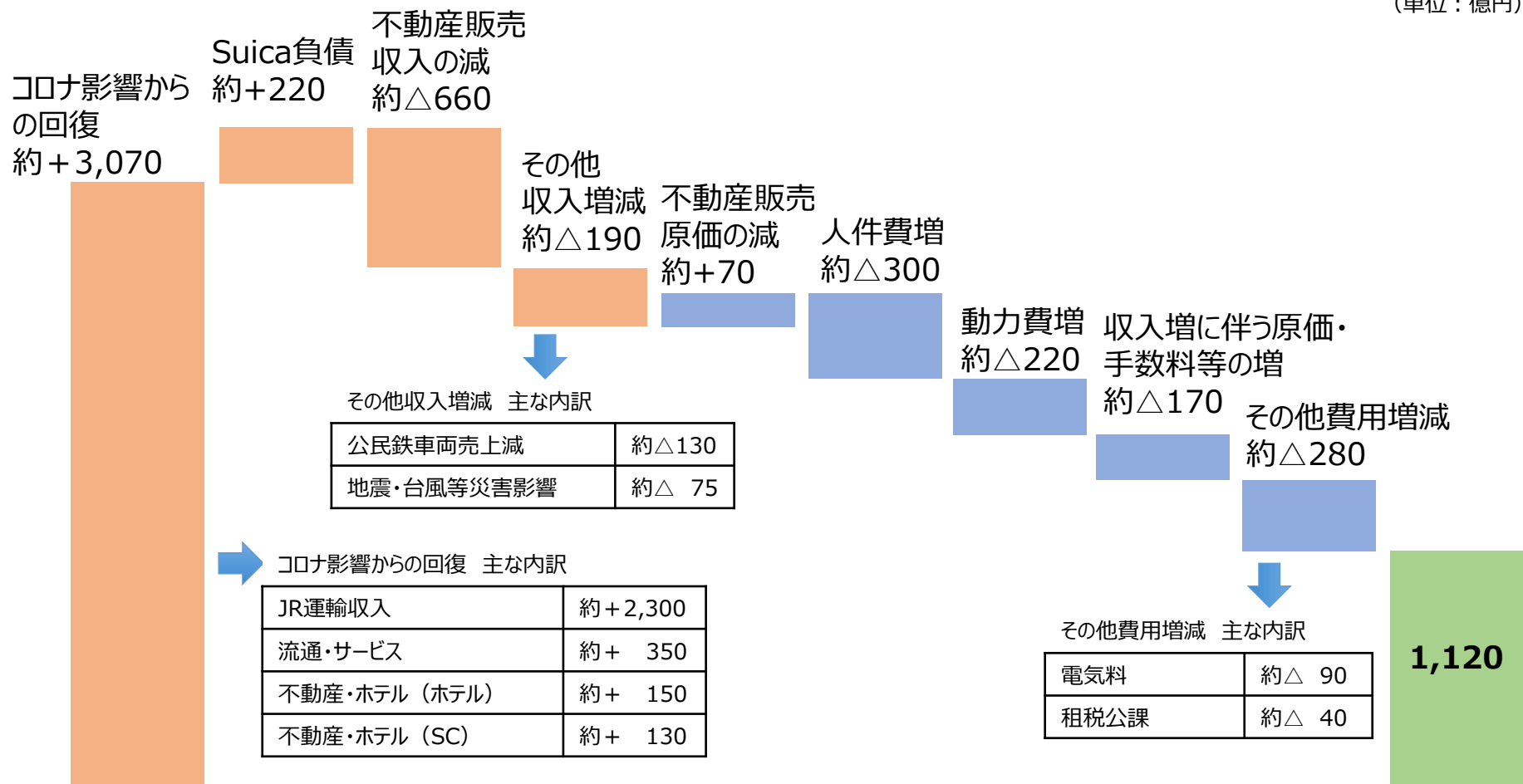
連結業績見通しについては、当第3四半期決算等を踏まえ検討した結果、2022年4月27日発表の通期の予想から変更いたしません。

### ○株主還元の状況（配当の状況）

2023年3月期 中間配当（1株当たり）50円 期末配当（1株当たり予想）50円

# 2023年3月期 第3四半期決算 連結営業損益増減

(単位：億円)

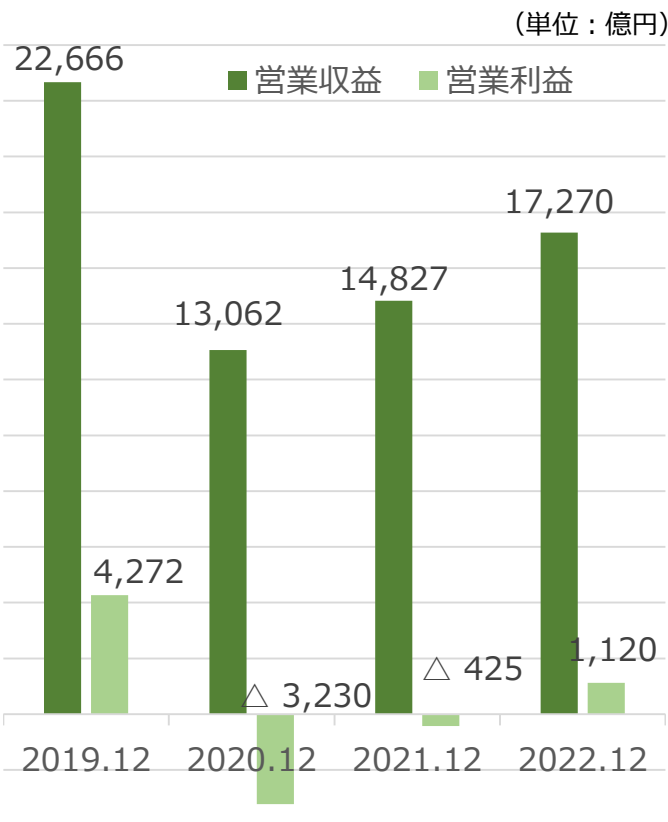


2021.12 ← 収入 +2,442 → 費用 △897 (費用増に伴う利益減) → 2022.12

# 第3四半期累計業績推移

## 連結決算

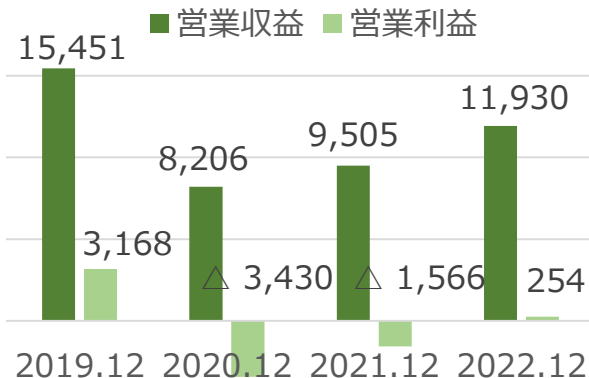
コロナ影響を大きく受けた2020.12から段階的に回復し2期連続の増収、3期ぶりの黒字



## 運輸事業

鉄道利用の回復により2期連続の増収、3期ぶりの黒字

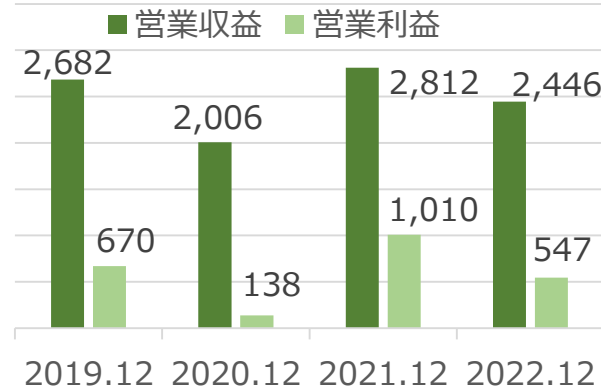
(単位：億円)



## 不動産・ホテル事業

ホテル・SCの売上は増加したものの、不動産販売の減少などにより対前年で減収

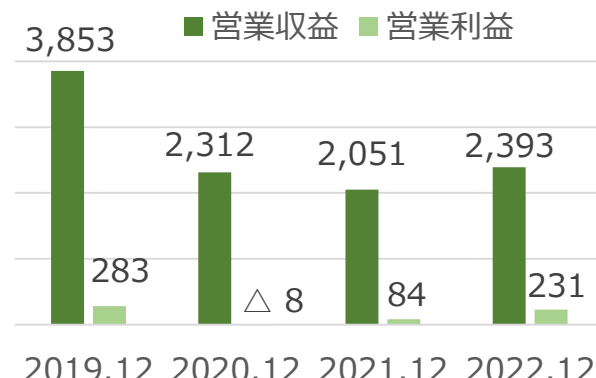
(単位：億円)



## 流通・サービス事業

エキナカ利用の回復により増収

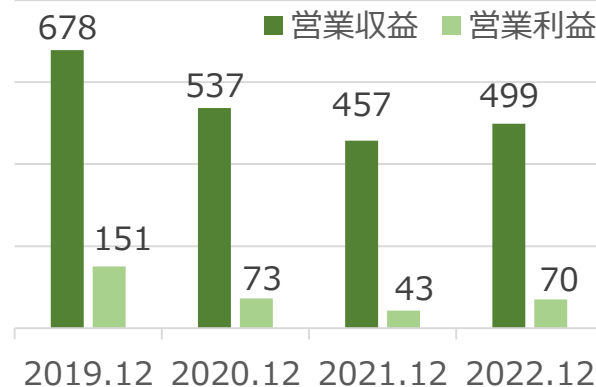
(単位：億円)



## その他

クレジットカード利用の回復により増収

(単位：億円)



※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

※ 2021.12以降は収益認識会計基準適用

※ 2020.12以降はJR広告業のセグメントを運輸事業から流通・サービス事業に変更

## 鉄道運輸収入の実績と今後の見通し：コロナ前との比較

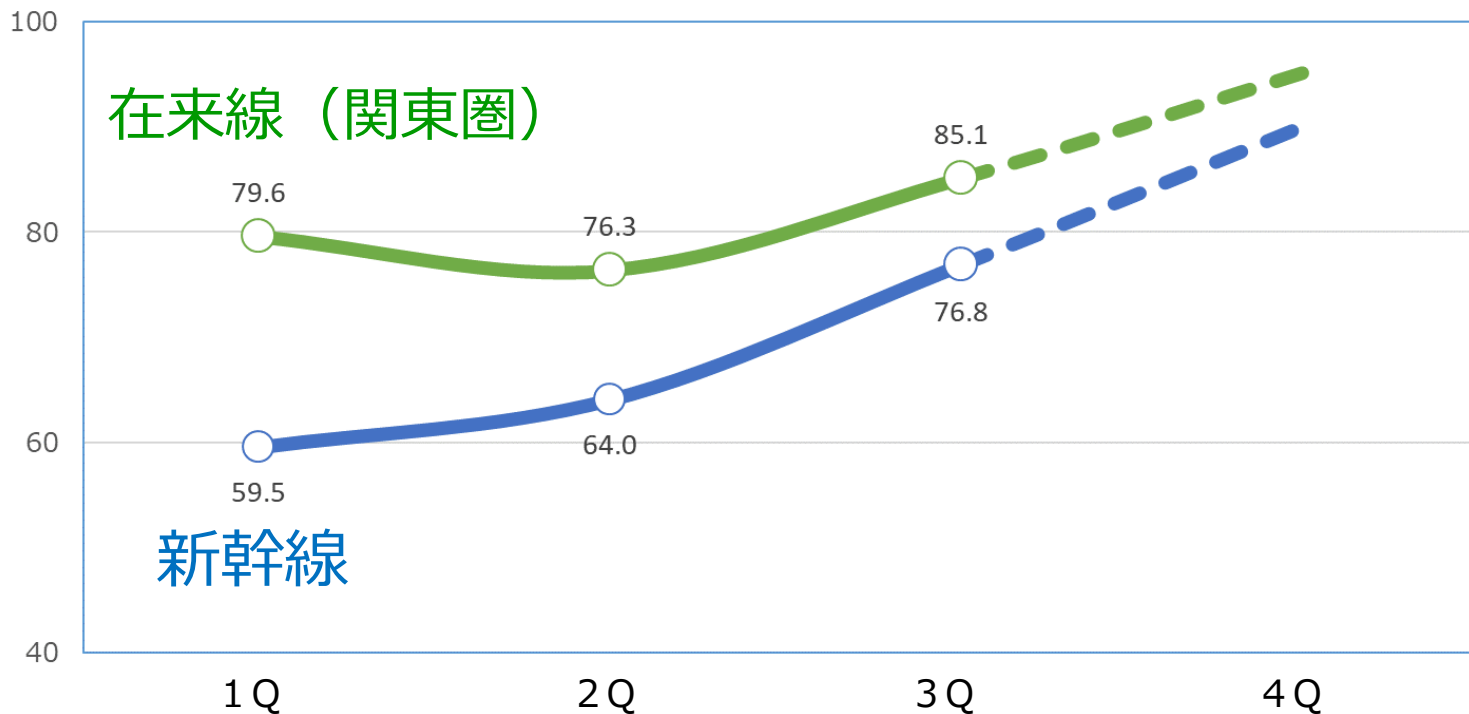
### ■ 定期収入

第3四半期実績（累計）：約77%

### ■ 定期外収入

第3四半期実績（累計）：在来線（関東圏）約80% 新幹線 約67%

（単位：%） 2023年3月期



在来線（関東圏）  
2023年3月末時点で約95%  
の水準に到達する見通し

新幹線  
2023年3月末時点で約90%  
の水準に到達する見通し

# 連結 損益計算書

(単位：億円)	2021.12 実績	2022.12 実績	2022.12/2021.12		主な増減事由
			増減	%	
営業収益	14,827	17,270	+2,442	116.5	
運輸	9,505	11,930	+2,425	125.5	鉄道運輸収入の増、Suica負債の収益計上時期変更
流通・サービス	2,051	2,393	+341	116.7	エキナカ店舗の売上の増
不動産・ホテル	2,812	2,446	△366	87.0	不動産販売収入の減、ホテルやショッピングセンターの売上の増
その他	457	499	+41	109.1	クレジットカード事業の売上の増
営業利益	△425	1,120	+1,545	-	
運輸	△1,566	254	+1,820	-	
流通・サービス	84	231	+146	272.9	
不動産・ホテル	1,010	547	△462	54.2	
その他	43	70	+27	163.6	
調整額	2	16	+13	553.4	
営業外損益	△235	△245	△10	104.4	
営業外収益	299	282	△17	94.3	協力金収入の減、雇用調整助成金の減、持分法投資利益の増
営業外費用	534	527	△6	98.7	
経常利益	△660	874	+1,535	-	
特別損益	41	97	+55	234.3	
特別利益	185	367	+181	198.1	受取補償金の増、工事負担金等受入額の増
特別損失	143	269	+125	187.7	工事負担金等圧縮額の増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△837	725	+1,563	-	

※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

(単位：億円)	2021.12 実績	2022.12 実績	2022.12/2021.12	
			増減	%
営業収益	9,505	11,930	+2,425	125.5
営業利益	△1,566	254	+1,820	-

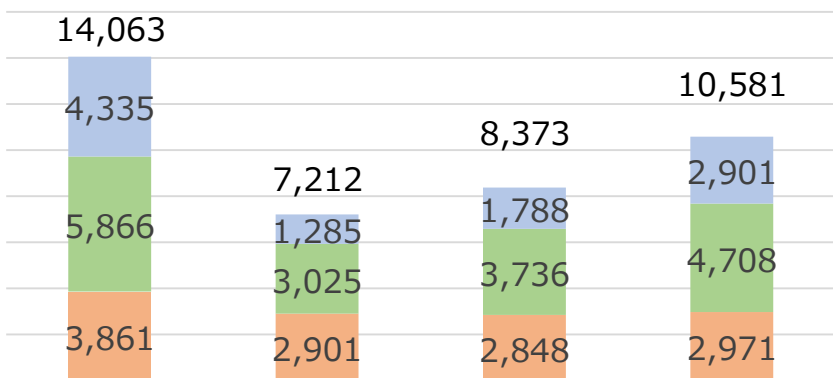
2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
		増減	%
12,770	16,750	+3,979	131.2
△2,853	100	+2,953	-

2022.12 営業収益（外部）の増減	
JR東日本（運輸）	+2,445
びゅうツーリズム&セールス	+37
東京モノレール	+19
総合車両製作所	△128

鉄道事業	鉄道回復により対前年で増収、運輸収入はコロナ前比で約75%の水準
車両製造事業	公民鉄向け車両売上の減により対前年で減収
バス事業	高速バス回復により対前年で増収、高速線収入はコロナ前比で約50%の水準
モノレール事業	利用回復により対前年で増収、運賃収入はコロナ前比で約60%の水準

## ■ 鉄道運輸収入 第3四半期実績

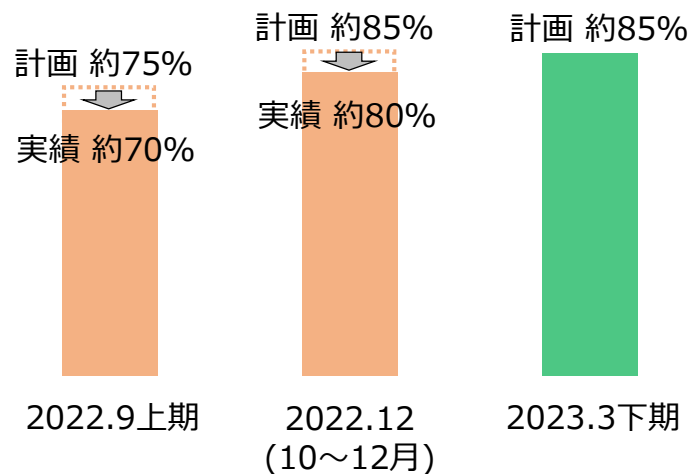
(単位：億円)



2019.12実績 2020.12実績 2021.12実績 2022.12実績

■ 定期 ■ 定期外(在来線) ■ 定期外(新幹線)

## ■ 鉄道運輸収入 コロナ前との比較



2022.9上期

2022.12  
(10~12月)

2023.3下期

# 流通・サービス事業

(単位：億円)	2021.12 実績	2022.12 実績	2022.12/2021.12	
			増減	%
営業収益	2,051	2,393	+341	116.7
営業利益	84	231	+146	272.9

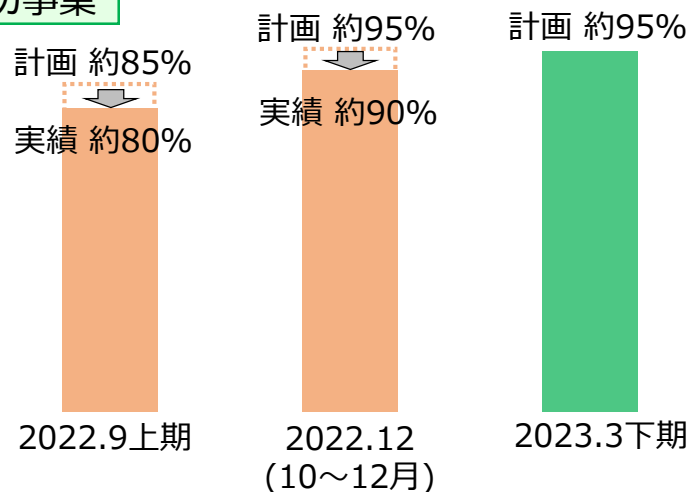
2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
		増減	%
2,781	3,530	+748	126.9
141	500	+358	354.2

2022.12 営業収益（外部）の増減	
JR東日本クロスステーション	+288
JR東日本東北総合サービス	+20
ジェイアール東日本企画	+15
JR東日本スポーツ	+13

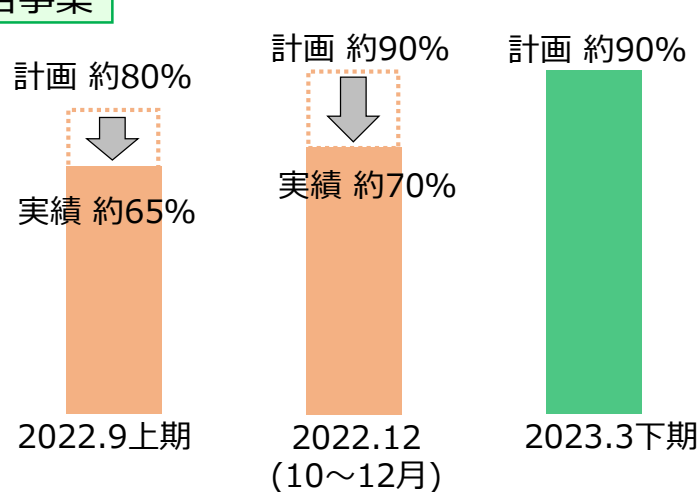
エキナカ事業	鉄道利用の回復に伴うエキナカ店舗の売上増により対前年で増収
広告事業	前年度までは減収傾向であったが、今年度は対前年で増収

## ■ 収入トレンド：コロナ前との比較

### エキナカ事業



### 広告事業



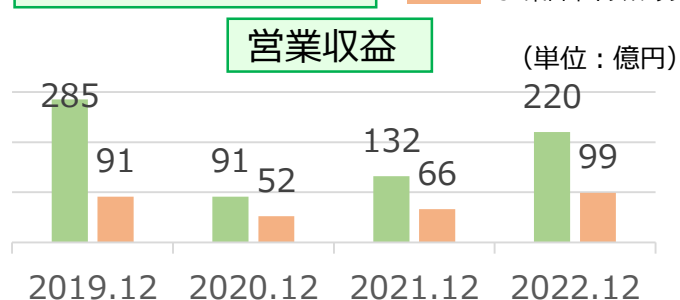


# 不動産・ホテル事業

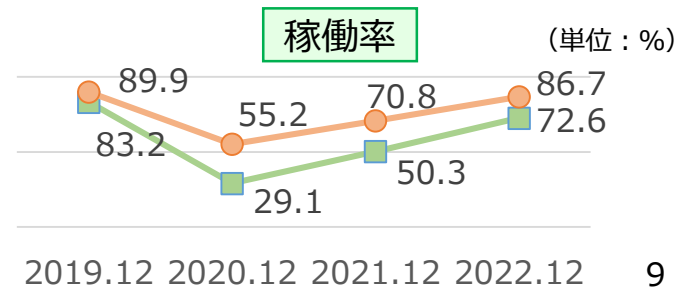
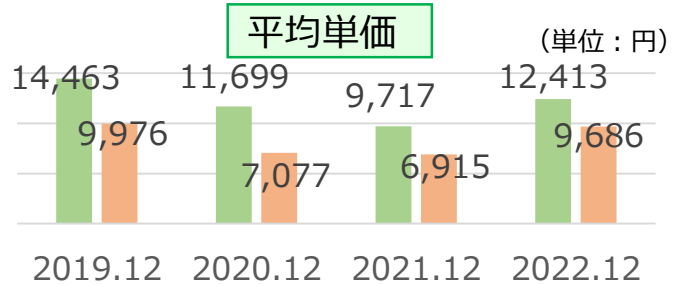
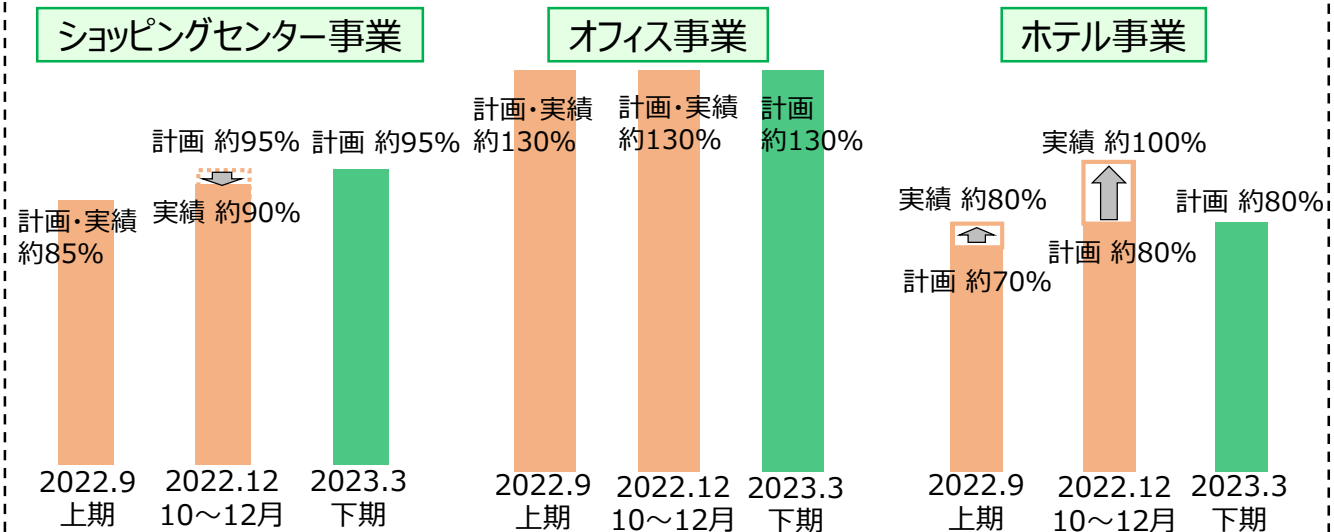
(単位：億円)	2021.12 実績	2022.12 実績	2022.12/2021.12		2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
			増減	%			増減	%
営業収益 ( ) は不動産販売除く	2,812 (2,119)	2,446 (2,417)	△366 (+297)	87.0 (114.1)	3,526 (2,830)	3,530 (3,293)	+3 (+463)	100.1 (116.4)
営業利益 ( ) は不動産販売除く	1,010 (407)	547 (536)	△462 (+129)	54.2 (131.6)	1,078 (475)	800 (627)	△278 (+152)	74.2 (132.1)

2022.12 営業収益 (外部) の増減		SC事業	駅ビルの売上増により対前年で増収
JR東日本 (不ホ)	△673	オフィス事業	一部テナント変更により対前年で減収
日本ホテル	+121	ホテル事業	ホテル利用増により対前年で増収 参考：ホテル事業実績※ (2022.12) 営業収益 407億円、営業利益 △8億円 ※各社ホテル事業の単純合算
ルミネ	+69	不動産販売事業	回転型ビジネスモデルによる売上の反動により対前年で減収
JR東日本ビルディング	△5		

ホテルチェーン別実績 (単位：億円)



## ■ 収入トレンド：コロナ前との比較



# その他

(単位：億円)	2021.12 実績	2022.12 実績	2022.12/2021.12	
			増減	%
営業収益	457	499	+41	109.1
営業利益	43	70	+27	163.6

2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
		増減	%
710	720	+9	101.3
116	150	+33	128.8

2022.12 営業収益（外部）の増減	
ビューカード	+34
JR東日本メカトロニクス	+15

IT・Suica事業	クレジット：カード取扱高の増により加盟店手数料収入が対前年で増収 電子マネー：電子マネー決済件数の増により加盟店手数料収入が対前年で増収 ICカード関連：決済端末の販売増により対前年で増収
その他 (情報システム関連)	システム受託収入の増により対前年で増収

(参考) IT・Suica事業の実績

(単位：億円)	2021.12 実績	2022.12 実績	2022.12/2021.12	
			増減	%
営業収益	301	358	+56	118.8
営業利益	55	81	+26	147.7

## ■ 収入トレンド：コロナ前との比較

### クレジットカード事業

通年でコロナ前と同程度で推移する見通し

### Suica電子マネー利用（件数）

通年でコロナ前の約130%程度で推移する見通し

# 連結 貸借対照表

(単位：億円)	2022.3 実績	2022.12 実績	2022.12/2022.3		主な増減事由
			増減	%	
資産	90,914	92,643	+1,728	101.9	
流動資産	9,070	10,986	+1,916	121.1	受取手形、売掛金及び契約資産の増
固定資産	81,844	81,656	△187	99.8	
負債	66,733	67,918	+1,184	101.8	
流動負債	16,885	15,669	△1,215	92.8	未払金の減
固定負債	49,847	52,248	+2,400	104.8	社債の増
純資産合計	24,181	24,725	+543	102.2	
負債・純資産合計	90,914	92,643	+1,728	101.9	

# 連結 有利子負債、設備投資額

## 連結有利子負債

(単位：億円)	2022.3 実績	2022.12 実績	2022.12/2022.3		平均金利（対2022.3）	
			増減	%		
有利子負債残高	47,037	48,440	+1,403	103.0	1.31%	(+0.00%)
社債	25,426	28,216	+2,789	111.0	1.09%	(△0.05%)
長期借入金	14,514	14,554	+40	100.3	0.83%	(+0.01%)
鉄道施設購入長期未払金	3,188	3,169	△18	99.4	6.54%	(+0.00%)
その他有利子負債	3,907	2,500	△1,407	64.0	△0.00%	(+0.00%)
ネット有利子負債残高	45,327	46,024	+697	101.5		

## 連結設備投資額

(単位：億円)	セグメント区分	2021.12 実績	2022.12 実績	2022.12/2021.12		2023.3 計画	2023.3/2022.3	
				増減	%		増減	%
輸送サービス	運輸事業	1,880	1,772	△107	94.3	4,220	+693	119.7
生活サービス IT・Suicaサービス	流通・サービス事業 不動産・ホテル事業、その他	1,047	827	△220	79.0	2,120	+446	126.7
合計		2,927	2,600	△327	88.8	6,340	+1,139	121.9

# 連結 通期計画

(単位：億円)	2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3		対2022.3実績 主な増減要素
			増減	%	
営業収益	19,789	24,530	+4,740	124.0	
運輸	12,770	16,750	+3,979	131.2	[+]鉄道運輸収入
流通・サービス	2,781	3,530	+748	126.9	[+]広告事業、[+]エキナカ事業
不動産・ホテル	3,526	3,530	+3	100.1	[+]ショッピングセンター事業、[+]ホテル事業
その他	710	720	+9	101.3	[+]Suica電子マネー収入
営業利益	△1,539	1,530	+3,069	-	
運輸	△2,853	100	+2,953	-	
流通・サービス	141	500	+358	354.2	
不動産・ホテル	1,078	800	△278	74.2	[△]不動産販売事業
その他	116	150	+33	128.8	
営業外損益	△255	△550	△294	215.2	
営業外収益	442				
営業外費用	698				
経常利益	△1,795	980	+2,775	-	
特別損益	△10	△100	△89	999.3	
特別利益	641				
特別損失	651				
親会社株主に帰属する 当期純利益	△949	600	+1,549	-	

※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

# 参考

# 単体 損益計算書

(単位：億円)	2021.12 実績	2022.12 実績	2022.12/2021.12		主な増減事由
			増減	%	
営業収益	10,797	12,640	+1,842	117.1	
運輸収入	8,373	10,581	+2,207	126.4	
その他の収入	2,423	2,058	△365	84.9	不動産販売収入の減
営業費用	11,170	11,817	+647	105.8	
人件費	2,721	2,961	+240	108.8	賞与関係の増
物件費	4,587	5,007	+419	109.2	
動力費	397	615	+217	154.7	燃料単価高騰による増
修繕費	1,560	1,604	+44	102.9	
その他	2,629	2,787	+157	106.0	部外委託関係の増
機構借損料等	635	632	△3	99.4	
租税公課	780	816	+35	104.6	
減価償却費	2,444	2,399	△44	98.2	
営業利益	△372	822	+1,195	-	
営業外損益	△215	△328	△112	152.3	受取配当金の減
経常利益	△587	494	+1,082	-	
特別損益	50	118	+67	234.5	受取補償金の増
四半期純利益	△697	483	+1,180	-	

# 単体 貸借対照表

(単位：億円)	2022.3 実績	2022.12 実績	2022.12/2022.3		主な増減事由
			増減	%	
資産	83,349	83,920	+570	100.7	
流動資産	6,698	7,967	+1,269	118.9	未収運賃の増
固定資産	76,651	75,952	△698	99.1	
負債	64,628	65,116	+488	100.8	
流動負債	16,375	14,493	△1,882	88.5	未払金の減
固定負債	48,252	50,623	+2,371	104.9	社債の増
純資産合計	18,721	18,803	+81	100.4	
負債・純資産合計	83,349	83,920	+570	100.7	



# 旅客輸送量・鉄道運輸収入 実績

	旅客輸送量 (百万人キロ)			鉄道運輸収入 (億円)					
	2021.12 実績	2022.12 実績	対前年 %	2021.12 実績	2022.12 実績	対前年		主な増減事由	
						増減	%		
新幹線		7,836	11,939	152.4	1,940	3,061	+1,121	157.8	
	定期	1,122	1,187	105.8	152	160	+8	105.3	
	定期外	6,714	10,752	160.1	1,788	2,901	+1,113	162.3	・新型コロナウイルス影響からの回復：+1,170 ・グリーン料金改定：+15 ・天候災害（2022年福島県沖地震）：△60 ・収益認識基準影響：△10
在来線		61,412	68,774	112.0	6,433	7,519	+1,086	116.9	
	定期	41,863	44,008	105.1	2,696	2,811	+114	104.2	
	定期外	19,548	24,766	126.7	3,736	4,708	+972	126.0	
在来線 関東圏	(再掲)	58,301	65,218	111.9	6,112	7,117	+1,005	116.5	
	定期	39,787	41,901	105.3	2,573	2,686	+112	104.4	
	定期外	18,513	23,316	125.9	3,538	4,431	+893	125.2	・新型コロナウイルス影響からの回復：+915 ・グリーン料金改定：+5 ・天候災害：△15 ・収益認識基準影響：△10
在来線 その他	(再掲)	3,111	3,556	114.3	321	401	+80	125.1	
	定期	2,075	2,106	101.5	122	124	+1	101.2	
	定期外	1,035	1,450	140.0	198	277	+79	139.9	・新型コロナウイルス影響からの回復：+80
合計		69,248	80,714	116.6	8,373	10,581	+2,207	126.4	
	定期	42,985	45,195	105.1	2,848	2,971	+122	104.3	・新型コロナウイルス影響からの回復：+130 ・収益認識基準影響：△10
	定期外	26,263	35,519	135.2	5,524	7,610	+2,085	137.8	

※ 「関東圏」とは、当社首都圏本部（旧東京支社）、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社および千葉支社管内の範囲

# 単体 通期計画

(単位：億円)	2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3		対2022.3実績 主な増減要素
			増減	%	
営業収益	14,241	17,940	+3,698	126.0	
運輸収入	11,132	14,910	+3,777	133.9	
その他の収入	3,109	3,030	△79	97.5	[△]不動産販売収入
営業費用	15,737	16,940	+1,202	107.6	
人件費	3,693	3,860	+166	104.5	[+]賞与戻入差
物件費	6,913	7,810	+896	113.0	
動力費	614	740	+125	120.5	[+]燃料単価増
修繕費	2,454	2,670	+215	108.8	[+]一般修繕費、[+]車両修繕費
その他	3,844	4,400	+555	114.5	[+]情報処理費、[+]収入連動経費
機構借損料等	847	850	+2	100.3	
租税公課	988	1,070	+81	108.2	
減価償却費	3,294	3,350	+55	101.7	[+]資産取得による増
営業利益	△1,495	1,000	+2,495	-	
営業外損益	△281	△490	△208	174.2	
経常利益	△1,777	510	+2,287	-	
特別損益	△160	20	+180	-	
当期純利益	△991	410	+1,401	-	

# 旅客輸送量・鉄道運輸収入 計画

	旅客輸送量 (百万人キロ)			鉄道運輸収入 (億円)					
	2022.3 実績	2023.3 計画	対前年 %	2022.3 実績	2023.3 計画	対前年		主な増減要素	
						増減	%		
新幹線		10,384	18,262	175.9	2,580	4,607	+2,026	178.5	
	定期	1,473	1,507	102.3	202	202	△0	100.0	
	定期外	8,910	16,754	188.0	2,378	4,404	+2,026	185.2	・新型コロナウイルス影響からの回復：+2,025 ・グリーン料金改定：+15 ・天候災害（2022年福島県沖地震）：△10 ・収益認識基準影響：△5
在来線		80,866	90,726	112.2	8,551	10,302	+1,751	120.5	
	定期	54,705	55,567	101.6	3,577	3,575	△1	100.0	
	定期外	26,160	35,158	134.4	4,974	6,727	+1,753	135.2	
在来線 関東圏	(再掲)	76,783	85,893	111.9	8,120	9,729	+1,608	119.8	
	定期	52,049	52,871	101.6	3,417	3,415	△1	100.0	
	定期外	24,733	33,022	133.5	4,703	6,313	+1,609	134.2	・新型コロナウイルス影響からの回復：+1,615 ・グリーン料金改定：+5 ・収益認識基準影響：△10
在来線 その他	(再掲)	4,083	4,832	118.3	430	573	+143	133.3	
	定期	2,655	2,696	101.5	160	160	△0	100.0	
	定期外	1,427	2,136	149.7	270	413	+143	153.1	・新型コロナウイルス影響からの回復：+150 ・収益認識基準影響：△5
合計		91,250	108,988	119.4	11,132	14,910	+3,778	133.9	
	定期	56,179	57,074	101.6	3,780	3,778	△1	100.0	・収益認識基準影響：△15 ・新型コロナウイルス影響からの回復：+15
	定期外	35,071	51,913	148.0	7,352	11,131	+3,779	151.4	

※ 「関東圏」とは、当社首都圏本部（旧東京支社）、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社および千葉支社管内の範囲

# 2026年3月期 数値目標

(単位：億円)	2022.3 実績	2023.3 計画	2026.3 数値目標	2026.3/2022.3	
				増減	%
営業収益	19,789	24,530	30,900	+11,110	156.1
運輸	12,770	16,750	19,700	+6,929	154.3
流通・サービス	2,781	3,530	5,500	+2,718	197.7
不動産・ホテル	3,526	3,530	4,800	+1,273	136.1
その他	710	720	900	+189	126.6
営業利益	△1,539	1,530	4,500	+6,039	-
運輸	△2,853	100	2,520	+5,373	-
流通・サービス	141	500	570	+428	403.8
不動産・ホテル	1,078	800	1,130	+51	104.8
その他	116	150	300	+183	257.7
調整額	△21	△20	△20	+1	92.7

※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

	2022.3 実績	2026.3 数値目標
営業キャッシュ・フロー	1,905億円	5年間（2022.3～2026.3）総額 36,930億円
総資産営業利益率（ROA）	△1.7%	4.5%程度
ネット有利子負債／EBITDA	19.0倍	5倍以下